

社長パトロール

ビデオで現場確認

大成ロテック

西田義則社長

大成ロテックの西田義則社長は、ビデオ会議アプリを利用して、全国10支社の主要工事現場の社長安全パトロールを実施した。写真。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で行動制限が求められている状況を踏まえ、本社と施工現場をアプリで接続



し、在宅勤務中の役員も自宅から参加。高速道路修繕工事のパトロールでは、路面切削

作業時の重機と人との分離状況、工事車両の規制帯内への出入り、誘導員の配置状況などを確認・点検した。

西田社長は「道路建設業は、社会インフラ整備という公共性の高い事業を担っており、十分な予防対策を講じた上で事業を継続させなければならぬ。支社幹部職員の行動制限がある中でも、安全パトロールをないがしろにするわけにはいかない。あらゆる手段を講じて現場支援に努めなければならぬ」と述べた。